



# Kofax Express

## インストールガイド

バージョン: 3.3.0

日付: 2022-06-21

**KOFAX**

© 2008-2021 Kofax. All rights reserved.

Kofax is a trademark of Kofax, Inc., registered in the U.S. and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. No part of this publication may be reproduced, stored, or transmitted in any form without the prior written permission of Kofax.

# 目次

はじめに.....	5
製品ファイルの保存場所.....	5
関連ドキュメント.....	5
オフライン ドキュメント.....	6
トレーニング.....	7
Kofax 製品のヘルプの入手.....	7
<b>第 1 章: 概要.....</b>	<b>9</b>
システム要件.....	9
.NET Framework 4.8 のインストールとアクティベーション.....	9
ファイアウォール設定.....	9
動作保証スキャナ.....	10
イメージの保存先.....	10
Kofax Express と Kofax Capture.....	10
<b>第 2 章: インストール.....</b>	<b>11</b>
スタンドアロン インストール.....	11
クライアント/サーバー インストール.....	12
Kofax Express サーバーのインストール.....	12
クライアント ワークステーションの展開.....	13
Kofax Express アプリケーション.....	14
サイレント インストール.....	15
スタンドアロン.....	15
サーバー.....	15
クライアント.....	16
ライセンスの設定.....	16
評価ライセンス.....	17
ソフトウェア ライセンスのアクティベーション.....	17
ハードウェア キー ライセンスの登録.....	18
エクスポート サービスのインストール.....	19
自動エクスポート.....	19
エクスポート フォルダ.....	19
エクスポート確認メッセージの抑制.....	19
ログの作成.....	19
エクスポート サービスのインストール.....	20
エクスポート コネクタのインストールおよび登録.....	20

デフォルトのエクスポート コネクタ.....	21
その他の Kofax エクスポート コネクタ.....	21
カスタム エクスポート コネクタ.....	21
Kofax Express を削除する.....	22
サイレント アンインストール.....	22
<b>第 3 章: 管理者アクセス.....</b>	<b>24</b>
ExpressAccess.xml.....	24
App.AppProfile.....	25

# はじめに

本ガイドには、Kofax Express を正常にインストールし、製品ライセンスをアクティベートするために必要な情報が含まれています。

## 製品ファイルの保存場所

Kofax Express を [Kofax フルフィルメント サイト](#) からダウンロードした場合は、そのサイトに記載されている手順を参照してインストール ファイルを展開してください。Kofax Express をパッケージとして入手した場合、インストール ファイルは電子メディアに含まれています。

## 関連ドキュメント

Kofax Express 3.3.0のドキュメント セットはこちらから入手できます:<sup>1</sup>

<https://docshield.kofax.com/Portal/Products/Express/3.3.0-8vueggfgfv/Express.htm>

Kofax Express 3.3.0 製品から個々のガイドやオンライン ヘルプに直接アクセスすることもできます。Kofax Express の右上隅にある ⓘ [ヘルプ] ボタンをクリックするか、キーボードの F1 を押すと、オンライン ドキュメントが新しいブラウザ ウィンドウに表示されます。

ⓘ 組織のセキュリティ ポリシーでインターネット アクセスが制限されている場合、またはインターネット接続が安定していない場合は、製品の使用中に **オフライン モード**でドキュメントにアクセスできます。

本ガイドに加えて、ドキュメント セットには、次の項目が含まれています。

### **Kofax Express Release Notes (Kofax Express リリース ノート)**

Kofax Express の他のドキュメントでは提供されない最新情報を含みます。

### **Kofax Express Technical Specifications (Kofax Express 技術仕様)**

サポートされているオペレーティング システムおよびその他のシステム要件に関する情報が含まれています。

### **Kofax Express ヘルプ**

ステップ バイ ステップの手順、一般的な作業ワークフローの説明、ユーザー インターフェイスの詳細など、オンライン製品のサポートを提供します。

---

<sup>1</sup> オンラインで完全なドキュメント セットにアクセスするには、インターネットに接続する必要があります。

### **Kofax Express**開発者ガイド

Kofax Express 環境で検証スクリプトとおよびエクスポート コネクタの作成およびカスタマイズを行う開発者向けの情報が記載されています。

### **Kofax Express SDK**

API に関するリファレンスと、カスタム エクスポート コネクタおよび検証スクリプトの作成に関する情報が含まれています。

## オフライン ドキュメント

ドキュメントをオフライン モードで使用できるようにするには、[Kofax Fulfillment サイト](#)からダウンロードした Kofax Express 製品パッケージからドキュメント ファイルを入手します。製品パッケージには、オフラインで使用するための次のドキュメント ファイルが含まれています。

- KofaxExpressDocumentation\_3.3.0\_EN.zip  
英語の Kofax Express ドキュメント セット全体が含まれています。このファイルは、オフライン モードで作業するすべてのユーザーに必要です。
- アラビア語、チェコ語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、イタリア語、日本語、ポルトガル語 (ブラジル)、ロシア語、および中国語 (簡体字) に翻訳された Kofax Express ドキュメントが含まれている zip ファイル。たとえば、ドイツ語の .zip ファイル名は KofaxExpressDocumentation\_3.3.0\_DE.zip になります。

英語の .zip ファイルには、Help フォルダと Print フォルダが含まれています。

- Print フォルダには、インストール ガイドと開発者ガイドが含まれています。
- Help フォルダには、Kofax Express のヘルプが含まれています。

他の言語の Print フォルダと Help フォルダには、Kofax Express の翻訳済みのインストール ガイドとヘルプのみがそれぞれ含まれています。

製品をインストールした後に、Print フォルダの内容をコンピュータ上の場所に抽出します。英語の場合は .zip ファイルから Print フォルダを抽出し、他の言語の場合は必要な .zip ファイルを抽出してください。


オフライン モードで動作するように Kofax Express のヘルプを設定するには、「[オフライン モードで使用するためのヘルプの設定](#)」参照してください。

## オフライン モードで使用するためのヘルプの設定

Kofax Express のヘルプがオフライン モードで動作するように設定するには、次の手順を実行します。

Help フォルダの内容を次の場所に抽出します。[ドライブ:]\ProgramData\Kofax\Kofax Express\Help\[言語コード]。

① ヘルプ ファイルは、それぞれの [言語コード] フォルダに配置する必要があります。たとえば、ドイツ語のヘルプ ファイルは、[ドライブ:]\ProgramData\Kofax\Kofax Express\Help\de に抽出します。

Kofax Express ウィンドウの右上隅にある  [ヘルプ] ボタンをクリックするか、キーボードの F1 を押すことにより、Kofax Express 3.3.0 からオフライン ヘルプに直接アクセスできるようになりました。

## トレーニング

Kofax は、Kofax Express ソリューションを最大限に活用するために、クラスルーム トレーニングとコンピュータ ベースのトレーニングを提供しています。利用可能なトレーニング オプションとスケジュールの詳細については、<https://learn.kofax.com/> から Kofax Education Portal (Kofax エデュケーションポータル) にアクセスしてください。

また、<https://smarthub.kofax.com/> から Kofax Intelligent Automation SmartHub にアクセスして、その他のソリューションを確認することもできます。

## Kofax 製品のヘルプの入手

[Kofax Knowledge Base (Kofax ナレッジベース)] リポジトリにある記事の内容は定期的に更新され、Kofax 製品の最新情報について参照できます。製品に関してご不明の点がある場合は、ナレッジベースで情報を検索することをお勧めします。

[Kofax Knowledge Base (Kofax ナレッジベース)] の参照:

1. [Kofax Web サイト](#) にアクセスして、ホームページで [サポート] を選択してください。
2. [サポート] ページが表示されたら、[カスタマーサポート] > [ナレッジベース] を選択してください。

**i** [Kofax Knowledge Base (Kofax ナレッジベース)] は Google Chrome、Mozilla Firefox または Microsoft Edge 向けに最適化されています。

[Kofax Knowledge Base (Kofax ナレッジベース)] は以下の内容を提供します。

- 強力な検索機能で必要な情報をすぐに見つけることができます。  
[Search (検索)] ボックスに目的の語句を入力し、検索アイコンをクリックしてください。
- 製品情報、設定の詳細、リリース情報などのドキュメント。

[Kofax Knowledge Base (Kofax ナレッジベース)] のホームページをスクロールして、製品ファミリーを見つけます。目的の製品ファミリー名をクリックして、関連記事の一覧を表示します。一部の製品ファミリーの場合は、関連記事を表示するために Kofax Portal (Kofax ポータル) の有効なログイン情報を入力する必要があります。

Knowledge Base のホームページで以下が可能です。

- Kofax Community (Kofax コミュニティ) へのアクセス (全カスタマー)。  
ページ上部の [Community (コミュニティ)] リンクをクリックしてください。
- Kofax Customer Portal (Kofax カスタマー ポータル) へのアクセス (一部のカスタマーのみ)。  
ページ上部の [Support (サポート)] リンクをクリックしてください。[Customer & Partner Portals Overview (カスタマーとパートナー ポータル概要)] が表示されたら、[Log in to the Customer Portal (カスタマー ポータルにログイン)]. をクリックします。
- Kofax Partner Portal (Kofax パートナー ポータル) へのアクセス (一部のパートナーのみ)。  
ページ上部の [Support (サポート)] リンクをクリックしてください。[Customer & Partner Portals Overview (カスタマーとパートナー ポータル概要)] が表示されたら、[Log in to the Partner Portal (パートナー ポータルにログイン)].

- Kofax サポート コミットメント、ライフサイクル ポリシー、電子フルフィルメントの詳細、セルフサービス ツールへのアクセス。

**[General Support (一般サポート)]** セクションに移動し、**[Support Details (サポートの詳細)]** をクリックし適切なタブを選択します。

## 第 1 章

# 概要

Kofax Express は、使いやすいバッチ指向のドキュメント スキャン アプリケーションで、高速スキャン機能に加えて、リアルタイム イメージ表示機能、インデックス処理やバーコード検出機能を備えています。最適なイメージの画質を得るために Kofax VRS の技術を採用しています。Kofax Express では、キャプチャしたコンテンツを、業界標準のドキュメント格納領域または格納システムでアクセス可能な場所にエクスポートすることができます。

## システム要件

サポートされているオペレーティング システムおよびその他の Kofax Express の要件については、[Kofax Express Documentation サイト](#)で入手可能な『Kofax Express Technical Specifications』(Kofax Express 技術仕様) ドキュメントを参照してください。

### .NET Framework 4.8 のインストールとアクティベーション

Kofax Express のインストールを Windows 8.x、Windows 10、Windows Server 2012 のいずれかで正常に実行するには、インストール プロセスを開始する前に Microsoft .NET Framework 4.8 をインストールして、アクティベーションを行う必要があります。これを行わない場合は、インストールが失敗します。

Kofax Express 3.3.0 スタンドアロンまたはサーバーのインストール中に、インストーラは .NET Framework 4.8 以降が既にインストールされているかどうかを確認します。インストールされていない場合は、.NET Framework 4.8 が自動的にインストールされます。

Kofax Express 3.3.0 クライアント ワークステーションのインストール中には、.NET Framework 4.8 は自動的にインストールされません。クライアント ワークステーションに Kofax Express 3.3.0 をインストールする前に、.NET Framework 4.8 以降がプリインストールされていることを確認してください。プリインストールされていない場合は、**KofaxExpress-3.3.0.ISO** の次のパスから .NET Framework 4.8 インストーラを入手できます。

```
..\ISSetupPrerequisites\{C1015097-96FE-4C5E-BD95-37910B3B16FF}\ndp48-x86-x64-allos-enu.exe
```

Microsoft .NET Framework 4.8 または 3.5.1 が事前にインストールされていない他のすべての Windows オペレーティング システムでも、同様の手順が必要になります。

## ファイアウォール設定

クライアント インストールおよびサーバー インストールでは、Windows ファイアウォールが有効な場合、クライアント ワークステーションはサーバーに接続できません。クライアント ワークステーション

とサーバー間の接続がブロックされないようにするには、[コントロール パネル] を使用して次のいずれかの操作を行います。

- Net.TCP ポート共有を、ファイアウォールによってブロックされないプログラムとサービスのリストに追加する。
- サーバー マシンの Windows ファイアウォールを無効にする。

## 動作保証スキャナ

Kofax Express は、幅広い業界標準スキャナとの動作が保証されています。また、定期的に、次のライセンス カテゴリで新しいスキャナが動作保証されます。

- Desktop または Workgroup スキャナ用 Kofax Express: 毎分 50 ページ (両面) までの処理速度をサポート (横向きの Letter サイズ用紙の場合)。
- 小容量、中容量、大容量スキャナ用 Kofax Express: 毎分 50 - 130 ページ (両面) までの処理速度をサポート (横向きの Letter サイズ用紙の場合)

動作保証スキャナの最新リストについては、[Kofax Scanner Configurator サイト](#)を参照してください。。適切なドライバを取得するには、スキャナに同梱されていたインストール メディア、またはスキャナ製造元の Web サイトを確認してください。

## イメージの保存先

デフォルトでは、Kofax Express は ProgramData フォルダ内の共通アプリケーション データ フォルダにイメージを保存します。スキャンするイメージ用に十分な空き容量を確保してください。

## Kofax Express と Kofax Capture

Kofax Express と Kofax Capture は同じマシンにインストールできます。ただし、Kofax Capture を最初にインストールする必要があります。

両方のアプリケーションが同じマシンにインストールされている場合に Kofax エクスポート コネクタを使用するには、エクスポート コネクタのインストールおよび登録の要件を確認してください。詳細は、「[エクスポート コネクタのインストールおよび登録](#)」を参照してください。

## 第2章

# インストール

新しいインストールを実行するには、[Kofax フルフィルメント サイト](#)からローカルドライブに Kofax Express をダウンロードするか、購入時に付属のリムーバブルインストールメディア (詳細は「[製品ファイルの保存場所](#)」を参照) を使用します。Kofax Express は、[スタンドアロン](#)または[クライアント/サーバー環境](#)にインストールできます。

❶ サイレントインストールの実行に関する情報については、[サイレントインストール](#)を参照してください。

お使いのコンピュータに Kofax Express 3.2.x が現在インストールされている場合は、Kofax Express 3.3.0 にアップグレードする前に Kofax Express 3.2.x をアンインストールする必要はありません。

お使いのコンピュータに Kofax Express 1.x.x、2.x.x、3.0.x または 3.1.x が現在インストールされている場合は、次のいずれかの手順を実行する必要があります。

- バージョン 3.2.x にアップグレードしてから、バージョン 3.3.0 にアップグレードする。
- バージョン 1.x.x、2.x.x、3.0.x、または 3.1.x をアンインストールしてから、バージョン 3.3.0 をインストールする。

❶ バージョン 3.2.x 以降から Kofax Express 3.3.0 にアップグレードする場合は、すべてのジョブ、バッチ、およびスキャナプロファイルが保持されるため、すべての機能がそのまま使用できます。

## スタンドアロン インストール

スタンドアロン設定は、同一のマシンで、すべての Kofax Express 管理、スキャン、インデックスおよびエクスポートのタスクを実行しようとする場合に適しています。

1. スキャナがインストールされており、製造元の指示に従ってコンピュータに接続されていることを確認します。
2. マシンのすべてのアプリケーションを閉じ、管理者権限を持つユーザーとしてログインしていることを確認します。

ドメインによっては、管理者アカウントによるローカルマシンの特定のフォルダやレジストリエントリへのアクセスが制限されていることがあります。管理者アカウントによって、ローカル管理者アカウントと同じレベルのフォルダおよびレジストリアクセス権が与えられていることを確認します。

3. お使いの Windows バージョンに応じて、インストールが完了するまで、ユーザーアカウント制御 (UAC) を無効にします。
4. 次のいずれかの場所から `setup.exe` ファイルをダブルクリックして、インストーラを起動します。
  - Kofax Express 3.3.0 製品ファイルを含むフォルダ

- リムーバブルな電子メディア

Kofax Express インストーラ画面が表示されます。

5. [次へ] をクリックして、セットアップ画面の指示に従います。  
セットアップ中に使用許諾契約への同意が求められます。また、Kofax Express 3.3.0 ソフトウェアのコンピュータ上のインストール先を指定する必要があります。
6. インストールの種類を選択するように求められるので、[スタンドアロン] チェック ボックスをオンにし、[インストール] ボタンをクリックしてインストールを開始します。
7. インストールが完了したことを知らせるメッセージが表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。
8. 「[ライセンスの設定](#)」で説明する手順に従って、ライセンスのアクティベーションを行います。

## クライアント/サーバー インストール

クライアント/サーバー 設定は、複数のワークステーションを使用してスキャン、インデックスおよびエクスポートの各種タスクを実行しようとする場合に適しています。この環境では、一般に、サーバーマシンをジョブ、バッチ、およびスキャンプロファイル管理に関する集中タスクに使用し、クライアントワークステーションをスキャン、インデックス、およびエクスポートの各種操作に使用します。Kofax Express クライアント ソフトウェアのインストールに必要な展開パッケージを作成するには、Kofax Express サーバーのインストールを完了する必要があります。

### Kofax Express サーバーのインストール

1. サーバー マシンでスキャンを実行する場合は、スキャナがインストールされ、製造元の指示に従ってマシンに接続していることを確認します。それ以外の場合は、次のステップを続けます。
2. マシンのすべてのアプリケーションを閉じ、管理者権限を持つユーザーとしてログインしていることを確認します。
3. お使いの Windows バージョンに応じて、インストールが完了するまで、ユーザー アカウント制御 (UAC) を無効にします。
4. 次のいずれかの場所から `setup.exe` ファイルをダブルクリックして、インストーラを起動します。
  - Kofax Express 3.3.0 製品ファイルを含むフォルダ
  - リムーバブルな電子メディア

Kofax Express サーバー インストーラ画面が表示されます。

5. インストーラ画面で、[次へ] をクリックして、セットアップ画面の指示に従います。  
セットアップでは、使用許諾契約に同意することが求められます。また、Kofax Express ソフトウェアとデータベースのインストール先を指定する必要があります。必要に応じて、[変更] をクリックして場所を更新します。
6. インストールの種類を選択するように求められたら、[サーバー] チェック ボックスをオンにし、[インストール] をクリックしてインストールを開始します。
7. サーバー インストールが完了したことを知らせるメッセージが表示されたら、[完了] をクリックします。

8. サーバーのインストール中に ClientSetup 展開フォルダが自動的に作成されたことを確認します。デフォルトでは、展開フォルダへのパスは、次のようになります。  
[インストール パス]\ClientSetup  
ClientSetup フォルダには、Kofax Express クライアント ソフトウェアのインストールに必要な情報が事前に設定してあります。クライアント ワークステーションは、サーバー マシンの集中ジョブやスキャン プロファイル リポジトリを問い合わせます。
9. 次のいずれかの操作を行います。
  - Kofax Express をインストールする予定の各クライアント ワークステーションに ClientSetup フォルダからアクセスできるように、このフォルダを共有するか、ネットワークの任意の場所またはリムーバブル メディアにこのフォルダをコピーします。
  - ClientSetup フォルダを各クライアント ワークステーションにコピーします。
10. ISSetupPrerequisites フォルダを **KofaxExpress-3.3.0.ISO** のルート フォルダから、Kofax Express をインストールする予定の各クライアント ワークステーションにコピーします。

## クライアント ワークステーションの展開

Kofax Express サーバーをインストールした後、このセクションの手順を使用して Kofax Express をクライアント ワークステーションにインストールします。

1. スキャンに使用するワークステーションの場合は、スキャナがインストールされ、製造元の指示に従ってクライアント ワークステーションに接続していることを確認します。それ以外の場合は、次のステップを続けます。
2. ワークステーションのすべてのアプリケーションを閉じ、管理者権限を持つユーザーとしてログインしていることを確認します。  
ドメインによっては、管理者アカウントによるローカル マシンの特定のフォルダやレジストリ エントリへのアクセスが制限されていることがあります。管理者アカウントによって、ローカル管理者アカウントと同じレベルのフォルダおよびレジストリ アクセス権が与えられていることを確認します。
3. ISSetupPrerequisites フォルダから次のサードパーティ ソフトウェアをインストールします。
  - Microsoft Visual C++ 2013 Update 5 Redistributable  
インストーラは次の場所で入手できます。  
[インストール パス]\ISSetupPrerequisites  
\{CC2DF5F8-4454-44B4-802D-5EA68D086676}
  - Microsoft Visual C++ 2015-2019 Latest Redistributable  
インストーラは次の場所で入手できます。  
[インストール パス]\ISSetupPrerequisites\{8ECB9800-52FD-432D-83EE-D6E037E96CC2}
  - Microsoft .NET Framework 4.8  
インストーラは次の場所で入手できます。  
[インストール パス]\ISSetupPrerequisites\{C1015097-96FE-4C5E-BD95-37910B3B16FF}
4. お使いの Windows バージョンに応じて、インストールが完了するまで、ユーザー アカウント制御 (UAC) を無効にします。

5. クライアントワークステーションで、ClientSetup 展開フォルダのルートに移動し、次のいずれかの手順を実行して、インストーラを起動します。
  - Kofax Express.msi ファイルを右クリックし、ドロップダウンメニューで【インストール】オプションを選択します。
  - 管理者権限でコマンドプロンプトウィンドウを開き、:へのパス]と入力して作業フォルダを ClientSetup フォルダに変更します。  
CD <ClientSetup フォルダへのパス>  
次に、以下のコマンドを入力します:msiexec.exe /i "Kofax Express.msi".  
Kofax Express インストーラ画面が表示されます。
6. インストーラの初期画面で、[次へ]をクリックして次に進みます。  
セットアップ中に使用許諾契約への同意が求められます。また、Kofax Express クライアントソフトウェアをインストールするワークステーション上の場所を指定する必要があります。
7. 【インストール】をクリックして、インストールを開始します。
8. インストールが完了したことを知らせるメッセージが表示されたら、[完了]をクリックします。
9. Kofax Express プログラムフォルダで、クライアントワークステーションで使用するアプリケーションには適用しないショートカットを削除します。  
たとえば、クライアントワークステーションをスキャン専用として使用する場合は、[インデックス]、[エクスポート]、[操作]のショートカットを削除します。詳細については、「[Kofax Express アプリケーション](#)」を参照してください。
  - a. [スタート]メニューの[すべてのプログラム] - [Kofax Express] を選択します。
  - b. Kofax Express プログラムフォルダで、不要なショートカットを右クリックしてから、[削除]をクリックします。
  - c. 削除を確認するメッセージが表示されるので、[ショートカットの削除]をクリックします。  
ショートカットが Kofax Express プログラムフォルダから削除されます。
  - d. 他のアプリケーションショートカットについても、必要に応じて Kofax Express プログラムフォルダから削除します。

## Kofax Express アプリケーション

クライアントワークステーションに Kofax Express をインストールすると、一連のショートカットが自動的にプログラムフォルダに作成されます。各ショートカットは、それぞれ次の Kofax Express アプリケーションを表します。

- **Kofax Express:** 製品のすべての機能が含まれます。
- **スキャン:** スキャンステーションを操作するのに必要な機能が含まれます。これらの機能は通常、ドキュメントのバッチの作成やスキャンに使用され、イメージの画質の補正を行う際に適用されます。
- **インデックス:** インデックスステーションを操作するのに必要な機能が含まれます。これらの機能は通常、スキャンされたドキュメントをエクスポートする前にインデックス処理するのに使用されます。
- **エクスポート:** エクスポートステーションを操作するのに必要な機能が含まれます。このステーションでは、ドキュメントのスキャンとインデックス処理終了後にエクスポートする処理を自動化します。バッチは Kofax Capture、Microsoft SharePoint、または別のドキュメント格納領域がコンテンツ管理システムにエクスポートされます。
- **操作:** スキャン機能、インデックス機能、およびエクスポート機能の組み合わせを含みます。

## サイレント インストール

このセクションでは、スタンドアロンまたはクライアント/サーバー環境で Kofax Express のサイレント インストールを実行する方法について説明します。

割り当てられたドライブまたは UNC パスではサイレント インストールを実行しないでください。

### スタンドアロン

この手順に従って、スタンドアロン コンピュータでのサイレント インストールを実行します。

1. マシンのすべてのアプリケーションを閉じ、管理者権限を持つユーザーとしてログインしていることを確認します。
2. お使いの Windows バージョンに応じて、インストールが完了するまで、ユーザー アカウント制御 (UAC) を無効にします。
3. 次のいずれかの操作を行います。
  - コンピュータ上のフォルダに **KofaxExpress-3.3.0.ISO** イメージ ファイルを抽出します。
  - コンピュータで Windows バージョン 8.1 以降を実行している場合は、**KofaxExpress-3.3.0.ISO** ファイルを CD/DVD ドライブとしてマウントします。
4. 管理者権限でコマンド プロンプト ウィンドウを開き、次のように作業フォルダを変更します。  
CD <抽出済み ISO のパス/マウントされた CD/DVD ドライブ> (次のいずれかに CD を指定します。)
  - **KofaxExpress-3.3.0.ISO** イメージ ファイルを抽出したフォルダ。
  - **KofaxExpress-3.3.0.ISO** イメージ ファイルを含む CD/DVD ドライブのマウント先。
5. 次に、以下のコマンドを入力します:  

```
setup.exe /s /v" /qn"
```

### サーバー

この手順に従って、サーバー コンピュータでのサイレント インストールを実行します。

1. サーバー コンピュータのすべてのアプリケーションを閉じ、管理者権限を持つユーザーとしてログインしていることを確認します。
2. お使いの Windows バージョンに応じて、インストールが完了するまで、ユーザー アカウント制御 (UAC) を無効にします。
3. 次のいずれかの操作を行います。
  - コンピュータ上のフォルダに **KofaxExpress-3.3.0.ISO** イメージ ファイルを抽出します。
  - コンピュータで Windows バージョン 8.1 以降を実行している場合は、**KofaxExpress-3.3.0.ISO** ファイルを CD/DVD ドライブとしてマウントします。
4. 管理者権限でコマンド プロンプト ウィンドウを開き、次のように作業フォルダを変更します。  
CD <抽出済み ISO のパス/マウントされた CD/DVD ドライブ> (次のいずれかに CD を指定します。)
  - **KofaxExpress-3.3.0.ISO** イメージ ファイルを抽出したフォルダ。
  - **KofaxExpress-3.3.0.ISO** イメージ ファイルを含む CD/DVD ドライブのマウント先。

- 次に、以下のコマンドを入力します:

```
Setup.exe /s /v"INSTALLTYPE=CLIENTSERVER /qn"
```

- サーバーのインストールが完了した後に、ClientSetup 展開フォルダが自動的に作成されていることを確認します。  
デフォルトでは、展開フォルダへのパスは、次のようになります。  
[インストールパス]\ClientSetup
- Kofax Express をインストールする予定の各クライアント ワークステーションに、ClientSetup 展開フォルダからアクセスできることを確認します。このフォルダを共有するか、ネットワークの任意の場所またはリムーバブル メディアにこのフォルダをコピーします。

## クライアント

この手順に従って、クライアント ワークステーションでのサイレント インストールを実行します。

- クライアント ワークステーションのすべてのアプリケーションを閉じ、管理者権限を持つユーザーとしてログインしていることを確認します。
- お使いの Windows バージョンに応じて、インストールが完了するまで、ユーザー アカウント制御 (UAC) を無効にします。
- サーバー インストール中に作成された **ClientSetup** 展開フォルダを各クライアント ワークステーションにコピーします。デフォルトでは、展開フォルダへのパスは、次のようになります。  
[インストールパス]\ClientSetup
- 管理者権限でコマンド プロンプト ウィンドウを開き、次のようにサーバーから [ClientSetup] フォルダをコピーするフォルダに作業フォルダを変更します。  
CD <ClientSetup フォルダへのパス>
- 次に、以下のコマンドを入力します:  
msiexec.exe /i "Kofax Express.msi" /qn

## ライセンスの設定

Kofax Express を初めて起動する場合は、ライセンス タイプを指定してからスキャナを選択してください。ライセンスとスキャナの設定は、Kofax Express のその後のセッションでもそのまま有効です。

- 必要に応じて場合は、スキャナの電源を入れます。
  - 次のいずれかの操作を行います。
    - Windows デスクトップにある Kofax Express ショートカットをクリックします。
    - [スタート] メニューから、**[Kofax Express]** プログラム フォルダを選択し、適切なショートカットをクリックします。
- スタンドアロン インストールでは、Kofax Express を初めて起動すると、[評価] ウィンドウが表示されます。
- 次のいずれかの操作を行います。
    - Kofax Express を評価ライセンスで使用する場合は、[評価] をクリックして「**評価ライセンス**」を確認してください (スタンドアロン インストールの場合のみ)。
    - ソフトウェア ライセンスがある場合は、[ソフトウェア ライセンスのアクティベーションの手順](#)に従ってください。

- ハードウェア キー ライセンスがある場合は、[ハードウェア キー ライセンスの登録](#) の手順に従ってください。

既定の **Scan to Desktop** (デスクトップへスキャン) ジョブが、Kofax Express ウィンドウで開きます。

既定ジョブには、空のバッチと設定が含まれており、一般的なドキュメント タイプで最良のイメージ画質が生成されるように設定されています。

❶ スキャナに接続していない Kofax Express クライアント ワークステーションでは、何もする必要はありません。それ以外の場合は、次のステップを続けます。

4. [スキャン設定] タブの [スキャナ] グループで、[選択] をクリックします。  
[スキャナの選択] ウィンドウが表示されます。
5. リストからスキャナの名前を選択して、[OK] をクリックします。(必要なスキャナがリストにない場合、適切なドライバの取得方法については、「[動作保証スキャナ](#)」を参照してください。) ツールバーの現在のスキャナ名は、選択されたスキャナの名前に変更されます。  
これで、Kofax Express を使用する準備ができました。詳細については、F1 キーを押してオンラインヘルプを参照してください。

## 評価ライセンス

スタンドアロン インストールでは、最初に Kofax Express を起動したときに、評価ライセンスが使用されます。評価期間中は、制限なくすべての製品機能を使用することができます。

評価期間が終了する前に、購入済みのライセンスのアクティベーションを行わない場合は、期間が終了すると Kofax Express はデモ モードに切り替わります。デモ モードでは、スキャンするイメージにロゴが挿入され、エクスポート操作が制限されます。

評価期間中、Kofax Express を起動するたびに注意事項が表示されます。ライセンスのアクティベーションを行うと、メッセージは表示されなくなります。

ソフトウェア ライセンスのアクティベーションを実行するか、ハードウェア キー ライセンスを登録することで、いつでも評価期間を終了させることができます。

## ソフトウェア ライセンスのアクティベーション

テクニカル サポートや製品アップデートを利用するには、ライセンスのアクティベーションが必要です。

Kofax Express アクティベーション Web サイトにアクセスするには、インターネット接続が必要です。必要に応じて、インターネットに接続された別のマシンから、次のサイトで製品ライセンスをアクティベーションします。

<http://activate.kofax.com/kofaxexpress/activate.aspx>

❶ アクティベーションが正常に終了しない状態でライセンスをアクティベーションしようとする、猶予期間が開始されます。猶予期間中は、ライセンスレベルに応じた製品の全機能が使用し続けることができます。ライセンスのアクティベーションが正常に完了しないまま、猶予期間が経過すると、製品はデモモードに切り替わります。デモモードでは、スキャンイメージにロゴが挿入され、エクスポート処理が制限されます。

1. 次のいずれかの適切なウィンドウの [アクティベーション] をクリックします。

- [Kofax Express の評価] ウィンドウ
- [Kofax Express の評価に関する注意事項] ウィンドウ
- [Kofax Express (デモモード)] ウィンドウ
- Kofax Express [ヘルプ] タブ

[Kofax Express アクティベーション] ウィンドウが表示されます。

2. 必要な情報を入力します。

必要に応じて、F1 キーを押してオンライン サポートを表示します。

3. [アクティベーション] をクリックします。

## ハードウェア キー ライセンスの登録

このセクションで説明する手順に従って、ハードウェア キー ライセンスの使用を開始します。テクニカル サポートや製品アップデートを利用するには、ハードウェア キー ライセンスを登録する必要があります。以前の Kofax Express バージョンから継続してハードウェア キー ライセンスを使用する場合は、登録を再度行う必要はありません。

Kofax Express 登録 Web サイトにアクセスするには、インターネット接続が必要です。必要に応じて、インターネットに接続された別のマシンから、次のサイトで製品ライセンスを登録します。

<http://activate.kofax.com/kofaxexpress/activate.aspx>

1. Kofax Express ハードウェア キーをマシンの USB ポートに取り付けます。

❶ ハードウェア キーを挿入後にエラーが発生した場合は、最新の Sentinel ドライバをインストールして完全な互換性を保証する必要があります。このドライバは、製品ファイルの Dongle Drivers フォルダに含まれています。

2. 次のいずれかの適切なウィンドウの [ハードウェア キー] (または [登録]) をクリックします。

- [Kofax Express の評価] ウィンドウ
- [Kofax Express の評価に関する注意事項] ウィンドウ
- [Kofax Express (デモモード)] ウィンドウ
- Kofax Express [ヘルプ] タブ

[Kofax Express の登録] ウィンドウは、以前の Kofax Express バージョンでハードウェア キー ライセンスの登録を行っていない場合に表示されます。既にライセンスを登録している場合は、何もする必要はありません。

3. [Kofax Express の登録] ウィンドウで、必要な情報を入力します。

必要に応じて、F1 キーを押してサポートを表示します。

#### 4. [今すぐ登録] をクリックします。

いったんハードウェア キー ライセンスを登録すると、登録に関するメッセージは表示されなくなります。

## エクスポート サービスのインストール

エクスポート サービスを使用すると、複数ユーザー環境の無人のワークステーション上でバッチを自動的にエクスポートできます。サービスとして実行すると、Export アプリケーションがインストールされているワークステーションの起動時に、Export アプリケーションが自動的に起動します。

エクスポート サービスを正常にインストールして実行するには、Kofax Express ワークステーション以上のライセンスがあり、アクティベーションが完了している必要があります。

❶ Export アプリケーションが同じワークステーション上で動作している間は、エクスポート サービスを実行できません。

### 自動エクスポート

エクスポート サービスを使用してバッチをエクスポートする場合、バッチ所有者名が [バッチ] パネルに [エクスポート サービス] として表示されます。

### エクスポート フォルダ

エクスポート サービスを実行するワークステーションは、エクスポート フォルダとなる可能性があるすべての場所にアクセスできる必要があります。アクセスできないフォルダにサービスがジョブをエクスポートしようとした場合、エクスポート プロセスは失敗します。

### エクスポート確認メッセージの抑制

バッチを正常にエクスポートすると、確認メッセージが表示されます。エクスポート サービスを実行している場合、エクスポート確認メッセージを抑制し、ユーザーがそのメッセージをクリアする手間を省くことができます。

メッセージを抑制するには、App.AppProfile を開き <DisableExportConfirmation> の値を 1 に設定します。

App.AppProfile の詳細については、「[管理者アクセス](#)」を参照してください。

### ログの作成

エクスポート サービスは、Windows のイベント ログと次のログ ファイルに情報を記録します。

```
<ProgramData>\Kofax\Kofax Express 3.3\logExportSvc.txt
```

サービス関連のイベント (停止、開始、アンインストール、エラー) およびバッチ関連のイベント (エクスポートの開始、エクスポートの中止など) が両方のログに書き込まれます。

## エクスポート サービスのインストール

コマンドプロンプト ウィンドウを使用し、次の手順に記載されているように Install パラメータを使用してサービスをインストールします。

1. ワークステーション ライセンスまたはそれ以上のライセンスがあり、アクティベーションが完了していることを確認します。
2. エクスポート サービスを実行するワークステーションに管理者権限でログインしていることを確認します。
3. コマンドプロンプト ウィンドウを開く前に、次のいずれかを実行します。
  - ユーザー アカウント制御 (UAC) を無効にします。
  - [管理者として実行] を選択します。
4. コマンドプロンプト ウィンドウで次を入力します。

```
"[インストール パス]\bin\KofaxExpressExportService.exe" -Install
```

エクスポート サービスが正常にインストールされたことを確認するメッセージが表示されます。

正常にインストールされたら、サービス管理コンソールを使用してエクスポート サービスを設定、開始、または停止できます。エクスポート サービスでは、[一時停止] 機能および [再開] 機能はサポートされていません。

## エクスポート サービスの削除

エクスポート サービスを削除するには、サービスのインストールに使用したのと同じ実行可能ファイルを実行します。

1. 管理者権限でエクスポート ワークステーションにログインしていることを確認します。
2. コマンドプロンプト ウィンドウを開く前に、次のいずれかを実行します。
  - UAC をオフにします。
  - [管理者として実行] を選択します。
3. コマンドプロンプト ウィンドウで次を入力します。

```
"[インストール パス]\bin\KofaxExpressExportService.exe" -Uninstall
```

エクスポート サービスが正常に削除されたことを確認するメッセージが表示されます。

## エクスポート コネクタのインストールおよび登録

エクスポート コネクタを使用して、特定のドキュメントストレージまたはコンテンツ管理システムにバッチをエクスポートします。Kofax Express で使用できるようにインストールし、登録したエクスポート コネクタはどれでも使用できます。

複数ユーザー環境では、エクスポート操作を実行するすべてのワークステーションにエクスポート コネクタをインストールする必要があります。エクスポート コネクタの登録は 1 回のみ必要です。

## デフォルトのエクスポート コネクタ

次のエクスポート コネクタは Kofax Express で使用できるように自動的にインストールされ、登録されます。

- マルチページ
- シングル ページ
- Kofax Capture
- データベース

## その他の Kofax エクスポート コネクタ

デフォルトのエクスポート コネクタの他に、Kofax では、Kofax Express インストールに追加できるエクスポート コネクタ (IBM FileNet、Documentum 他) を提供しています。これらのコネクタは個別にインストールします。

**i** Kofax エクスポート コネクタをインストールする前に、Kofax Express を終了します。該当する場合は、Kofax Capture や他の Kofax ソフトウェアも終了します。

Kofax エクスポート コネクタを Kofax Express に登録する処理は場合によって異なることがあります。次のガイドラインを確認し、ご利用の状況にどの方法を使用するかを決定してください。

- Kofax Express がすでに存在するコンピュータに Kofax エクスポート コネクタをインストールした場合、コネクタは自動的に登録されるため、何もする必要はありません。
- Kofax Capture と Kofax Express の両方が存在するコンピュータに Kofax エクスポート コネクタをインストールする場合は、「[管理者として実行]」を使用して、Kofax Express にログインします。その後、「*Kofax Express* のヘルプ」に記載されている登録手順に従います。どちらのアプリケーションでもエクスポート コネクタを使用できるようになります。
- Kofax エクスポート コネクタを Kofax Capture および Kofax Express の両方が存在するコンピュータで使用する場合は、コネクタを Kofax Express でのみ使用したいときは、インストールおよび登録を実行するユーティリティを使用する必要があります。

このユーティリティ (InstallExportConnector.exe) は Kofax Express の bin フォルダにあります。

ユーティリティを実行するには、「[管理者として実行]」を使用してコマンドプロンプト ウィンドウを開き、bin フォルダに移動します。次に、実行可能ファイル名と、それに続けて、エクスポート コネクタのインストーラへのパスを次のように入力します。

```
InstallExportConnector.exe "c:\setup.msi"
```

## カスタム エクスポート コネクタ

カスタム エクスポート コネクタをインストールする場合は、手動による登録手順に従います。適切な .dll ファイルを [インストール パス]\bin\ExportConnectors にコピーします。ファイルをコピーした後は、何もする必要はありません。

## Kofax Express を削除する

次の手順に従って、Kofax Express および関連するコンポーネントをマシンから削除します。

Kofax Express をアンインストールし、別のマシンにインストールして、ライセンスを再度使用する予定の場合は、ライセンスのアクティベーション解除を行う必要があります。Kofax Express をアンインストールして、同じマシンに再インストールする場合は、アクティベーション解除は必要ありません。

1. [コントロール パネル] で、[プログラムと機能] をクリックします。
2. 現在インストールされているプログラムの一覧で、[Kofax Express] をクリックします。
3. [アンインストール] をクリックします。
4. 確認プロンプトで [はい] をクリックします。
5. ユーザー ファイルを削除するかどうかを確認するメッセージが表示されたら、次のいずれかの操作を行います。
  - Kofax Express で作成したすべてのジョブ、バッチ、ジョブ テンプレート ファイルを削除する場合は、[はい] をクリックします。
  - ファイルを保存する場合は、[いいえ] をクリックします。そうすると、ジョブ、バッチ、ジョブ テンプレートを、Kofax Express の再インストール後にまた利用できるようになります。
6. 処理が完了したことを知らせるメッセージが表示されたら、[完了] をクリックします。

## サイレント アンインストール

このセクションでは、スタンドアロンまたはクライアント/サーバー環境で Kofax Express のサイレント アンインストールを実行する方法について説明します。

割り当てられたドライブまたは UNC パスではサイレント アンインストールを実行しないでください。

### スタンドアロン

この手順に従って、スタンドアロン コンピュータでサイレント アンインストールを実行します。

1. マシンのすべてのアプリケーションを閉じ、管理者権限を持つユーザーとしてログインしていることを確認します。
2. 該当する場合は、アンインストールが完了するまで、UAC をオフにします。
3. 管理者権限でコマンド プロンプト ウィンドウを開き、次のコマンドを入力します：  
`msiexec.exe /x{F26B4150-8FFB-41CD-8616-15CC68957C26} /qn`

### クライアント

この手順に従って、クライアント ワークステーションでサイレント アンインストールを実行します。

1. クライアント ワークステーションのすべてのアプリケーションを閉じ、管理者権限を持つユーザーとしてログインしていることを確認します。
2. 該当する場合は、アンインストールが完了するまで、UAC をオフにします。
3. 管理者権限でコマンド プロンプト ウィンドウを開き、次のコマンドを入力します：  
`msiexec.exe /x{F26B4150-8FFB-41CD-8616-15CC68957C26} /qn`

## サーバー

この手順に従って、サーバー コンピュータでサイレント アンインストールを実行します。

1. サーバー コンピュータのすべてのアプリケーションを閉じ、管理者権限を持つユーザーとしてログインしていることを確認します。
2. 該当する場合は、アンインストールが完了するまで、UAC をオフにします。
3. 管理者権限でコマンド プロンプト ウィンドウを開き、次のコマンドを入力します:  
`msiexec.exe /x{F26B4150-8FFB-41CD-8616-15CC68957C26} /qn`

## 第3章

# 管理者アクセス

スタンドアロン インストールでは、Kofax Express ユーザーは、この製品の全機能へのフル アクセスを持っています。フル アクセスを特定のユーザーにのみ付与する場合は、ExpressAccess.xml および App.AppProfile ファイルを使用して、ユーザー固有の権限に基づいてアクセスを管理します。どちらのファイルも、共通アプリケーション データ フォルダにあります。

ProgramData\Kofax\Kofax Express 3.3

たとえば、これらのファイルを使用すると、スキャンを行うオペレータに、バッチ エクスポートを除く全機能へのスーパーバイザー アクセスを付与する一方で、そのオペレータがジョブまたはインデックスの設定機能を使用できないように設定することができます。Kofax Express のインストールを管理する責任のあるすべてのユーザーにフル アクセスを付与することができます。アクセスのレベルは、各ユーザーの Windows ログインに基づきます。

## ExpressAccess.xml

このファイルにより、ログイン ユーザーの Kofax Express へのアクセスが制御されます。デフォルトでは、<DisableAllAdmin> は 0 (ゼロ) に設定されており、Kofax Express へのフル アクセスが付与されます。<DisableAllAdmin> が 1 に設定されている場合、ログイン ユーザーは [オプション] ウィンドウで設定を表示できます (変更はできません)。このウィンドウでは、一般設定や、個々の機能へのアクセスが制御されます。

ExpressAccess.xml の一部:

```
<ExpressAccess>
  <Class>ExpressAccess</Class>
  <Version>1</Version>
  <Members>
    <DisableAllAdmin>0</DisableAllAdmin>
  </Members>
</ExpressAccess>
```

同じマシン上の Kofax Express に対して複数のレベルのアクセスを設定するには、Kofax Express という名前のフォルダを作成し、ExpressAccess.xml の上書きコピーをこのフォルダに追加し、設定を変更します。このフォルダを、現在のユーザーのアプリケーション データ フォルダにコピーします。

Users\[現在のユーザー]\AppData\Roaming

Kofax Express ユーザーがマシンにログインするたびに、まず、現在のユーザーのアプリケーション データに上書きファイルがあるかどうかを確認されます。ファイルが存在する場合は、空でもそのファイルが使用されます。この場合の効果は、Kofax Express へのフル アクセスを付与するデフォルトの ExpressAccess.xml ファイルと同じになります。これ以外の場合は、共通アプリケーション データ フォルダ内の ExpressAccess.xml ファイルが使用されます。

上書きファイルは、Kofax Express 管理者に役立ちます。すべての Kofax Express ワークステーションにログインでき、[オプション] ウィンドウの設定をカスタマイズできるからです。ExpressAccess.xml に読み取り専用権限を適用すると、権限のないユーザーがファイルを変更するのを防止できます。

## App.AppProfile

このファイルには、[オプション] ウィンドウのすべての設定の現在の値が含まれています。[オプション] ウィンドウの設定をカスタマイズした後は、更新した App.AppProfile を、個々の機能へのアクセスを制限または制御するワークステーションにコピーします。たとえば、設定をカスタマイズして、[ジョブ設定] タブ、[バーコード設定] タブ、および [インデックス設定] タブが Kofax Express ユーザー インターフェイスに表示されないようにすることが可能です。更新した App.AppProfile ファイルは、ユーザーがこれらのタブへのアクセスを必要としないすべてのワークステーションにコピーできます。また、ExpressAccess.xml の上書きファイルをこれらのワークステーション上の現在のユーザーのアプリケーション データ フォルダにコピーして、ログイン ユーザーが [オプション] ウィンドウを使用してこれらのタブへのアクセスを復元できないようにすることも可能です。